

愛知県経済の現状と見通し < 2015年8月 >

1. 景気判断 一覧表

部門	個別項目	基調判断(方向等)	基調判断の 前月との 比較(注1)	水準評価 (注2)
		詳細		
総括判断	景気の現状	景気は持ち直しつつある ----- 国内需要に一部弱い動きがみられるものの、持ち直しつつある。		
	当面の見通し	景気は緩やかに持ち直す見通し ----- 雇用・所得環境の底堅さや輸出の伸びを背景に、県内景気は緩やかに持ち直す見通し。		
家計部門	個人消費	弱含み ----- 百貨店販売額は3か月ぶりの前年比減少。		
	雇用	底堅く推移 ----- 有効求人倍率は5か月ぶりに前月から上昇し、高水準。		
	住宅投資	持ち直しの兆し ----- 住宅着工戸数は2か月ぶりの前年比増加。		
企業部門	企業活動	減速傾向 ----- 鉱工業生産指数は2か月ぶりの前年比低下。		
	企業倒産	低水準が持続 ----- 倒産件数は2か月連続の前年差増加。		
海外部門	輸出	上向きつつある ----- 名古屋港通関輸出金額は2か月ぶりの前年比増加。		
公共部門	公共投資	低調 ----- 公共工事請負金額は3か月ぶりの前年比増加。		

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、：上方修正、：据え置き、：下方修正を示す。

(例えば、「回復」「減速」となれば下方修正、「回復」「回復」なら据え置き、となる)したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、：晴、：晴～曇、：曇、：曇～雨、：雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 長井
	電話：059-354-7102 Mail：mir@miebank.co.jp

2. 個別項目の動向: 家計部門

<b>基調判断</b>	弱含み		
基調判断の前月との比較		水準評価	

**現状**  
『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、6月の名古屋市内百貨店販売額は、前年比 1.3%と3か月ぶりの減少。品目別にみると、飲食料品や、家具・家庭用品を含むその他が増加した一方、主力商品の衣料品(同 9.2%)が天候不順の影響などからマイナスに転じ、総額を押し下げ。

7月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、27,561台(前年比 11.8%)と7か月連続で減少し、マイナス幅が拡大。車種別にみると、4月からの軽自動車税引き上げが下押しに作用する軽乗用車(同 25.9%)は大幅減が続いたほか、普通車(同 0.2%)、小型車(同 12.6%)もマイナスに転じ、弱い動き。

また、『家計調査』より、個人消費の動向を支出者側からみると(図表3)、6月の勤労者世帯・消費支出(名古屋市)は前年比 10.0%と、10か月連続の減少。可処分所得が同 +18.9%と大きく増加したものの、消費支出は2ケタのマイナスが持続し、消費マインドの弱さが示唆される状況。

**見通し**  
足もと消費マインドに弱さが窺われるものの、県内主要産業の自動車関連企業などでの賃金増加や、原油価格下落を背景とした消費者物価の伸び率縮小が下支えし、緩やかに持ち直していく見通し。

もっとも、自動車や家電など耐久消費財の販売は、買い替えサイクルが長期化するなか消費増税前の駆け込みによる需要の前倒しが大きく、回復に時間を要する見通し。

**図表2 新車乗用車販売台数 < 前年比 >**

(資料) 日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」

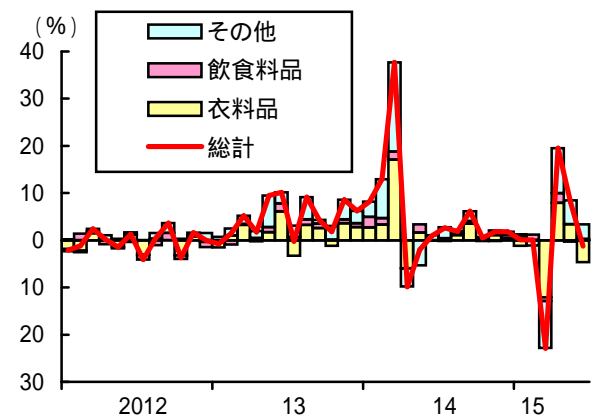
**7月 新車乗用車販売台数 < 含む軽 >**  
27,561台 前年比 11.8% (7か月連続の減少)

**図表3 名古屋市・消費支出等 < 前年比 >**

(資料) 総務省「家計調査」

**6月 勤労者世帯・消費支出**  
前年比 10.0% (10か月連続の減少)

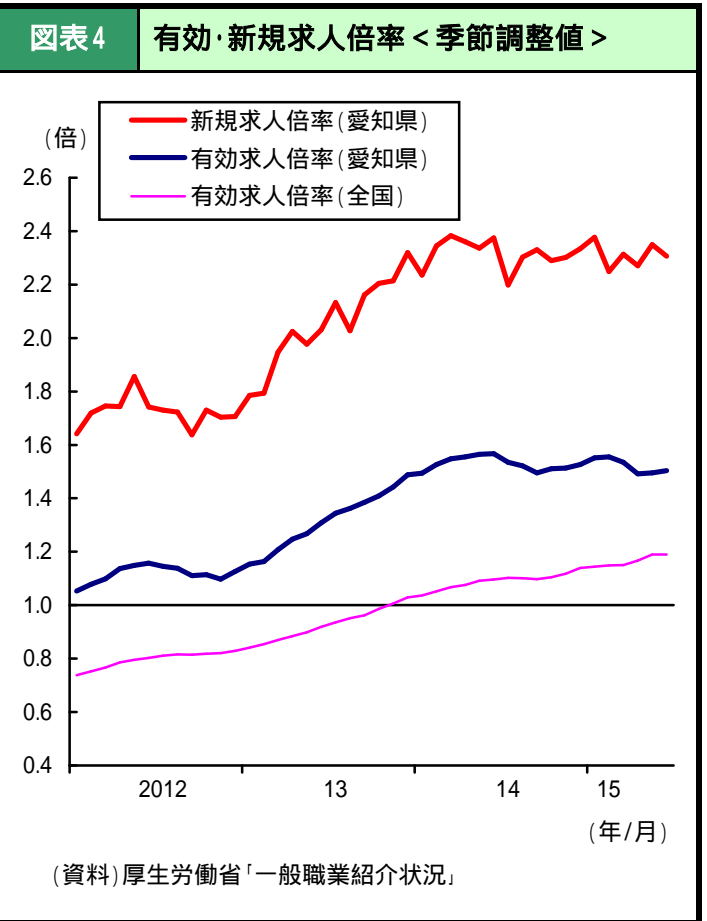
**図表1 名古屋市内百貨店販売額 < 前年比 >**



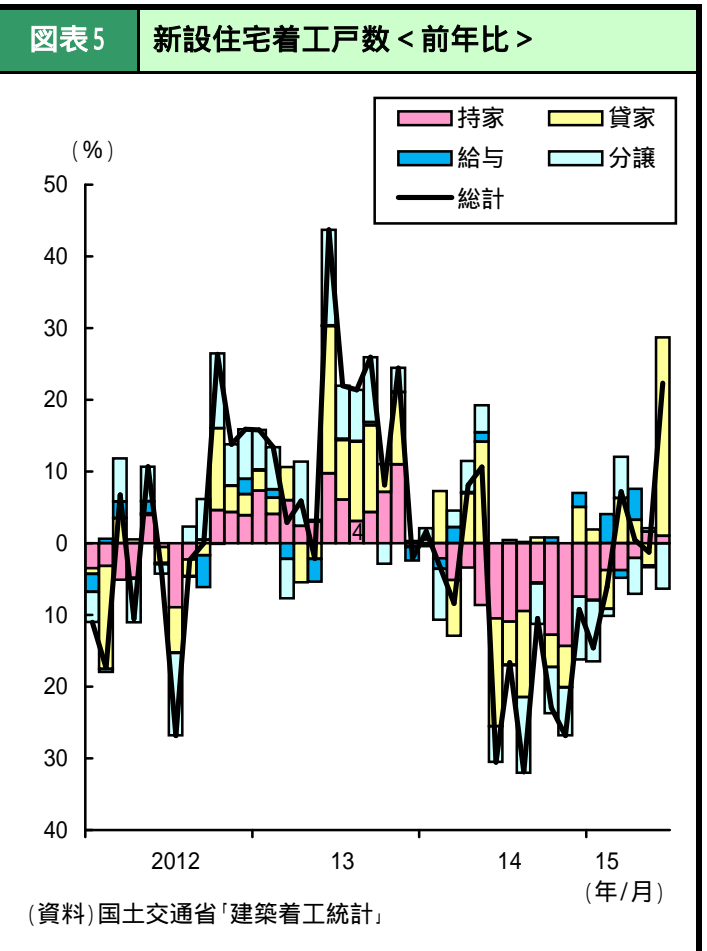
(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売」

**6月 名古屋市・百貨店販売額**  
332億円 前年比 1.3% (3か月ぶりの減少)

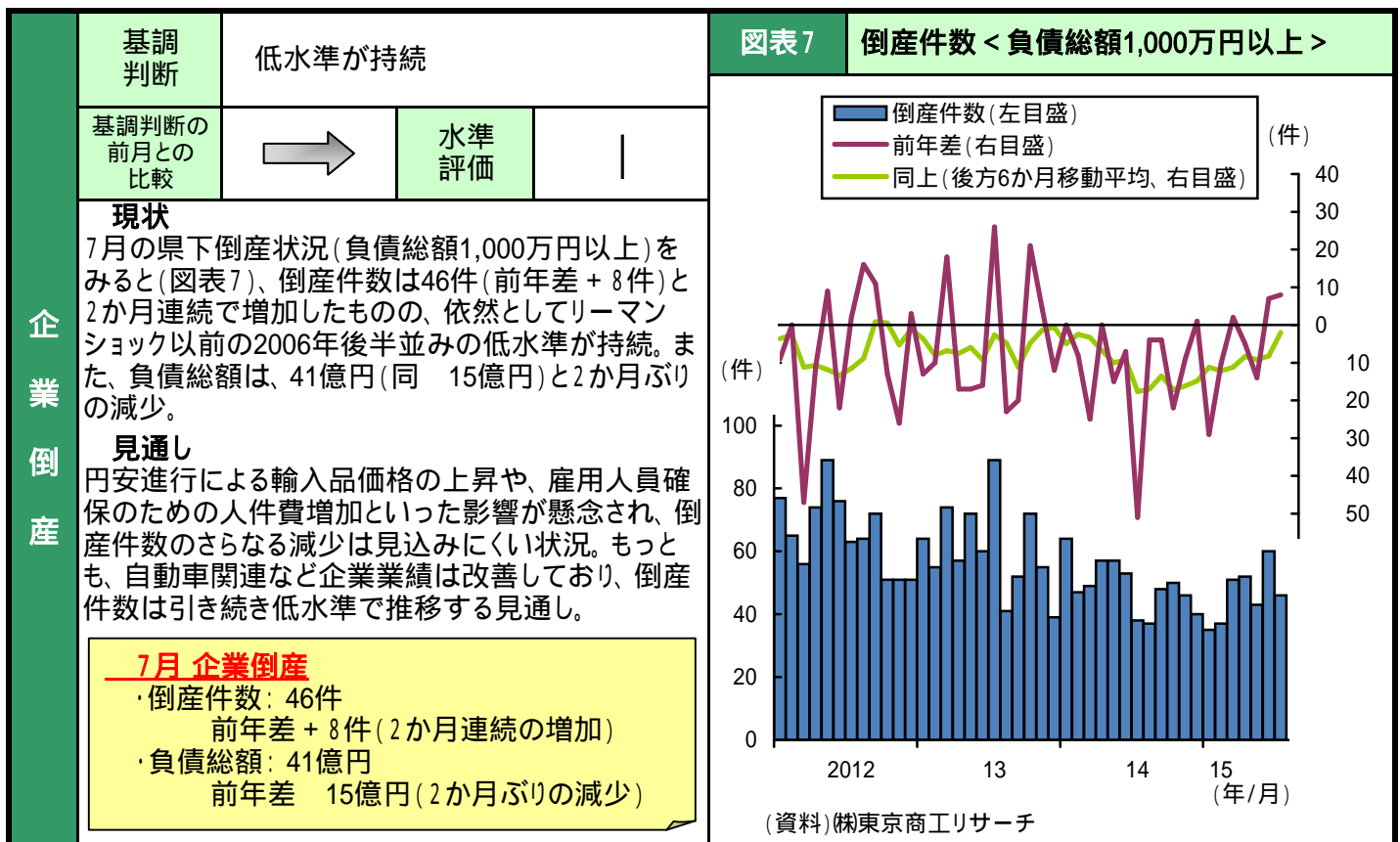
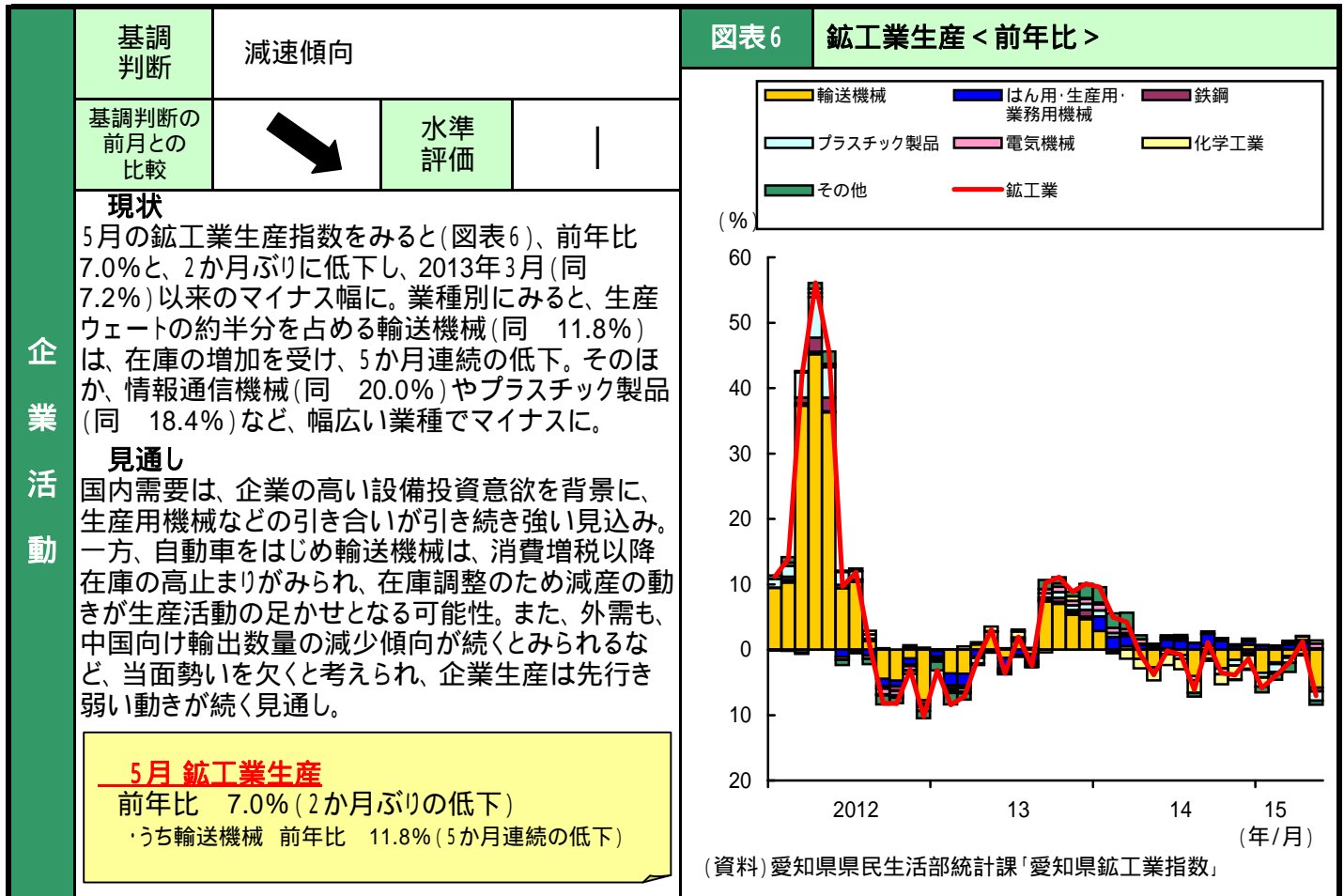
雇用	基調判断	底堅く推移		
	基調判断の前月との比較	➡	水準評価	
	<p><b>現状</b> 6月の雇用環境をみると(図表4)、新規求人倍率(季節調整値)は、2.31倍と2か月ぶりに低下。一方、有効求人倍率(同)は、1.50倍と5か月ぶりに上昇。回復傾向は一服するも、高水準が持続。 同月の新規求人数は、前年比 2.3%と9か月連続で減少。主要産業別にみると、宿泊業、飲食サービス業(同+44.1%)や卸売業、小売業(同+8.0%)などはプラスに転じた一方、製造業(同 14.7%)、サービス業(同 32.7%)が大きく減少。</p> <p><b>見通し</b> 雇用動向全般に先行性を有する新規求人数が、製造業、非製造業ともに足もとで減少傾向。先行き、一段の改善は見込み薄とみられるものの、人手不足感の強い状況が続く見通し。</p>			
<p><b>6月 求人倍率&lt;季節調整値&gt;</b>                  ・有効求人倍率: 1.50倍                    前月差 +0.01ポイント(5か月ぶりの上昇)                  ・新規求人倍率: 2.31倍                    前月差 0.04ポイント(2か月ぶりの低下)</p>				



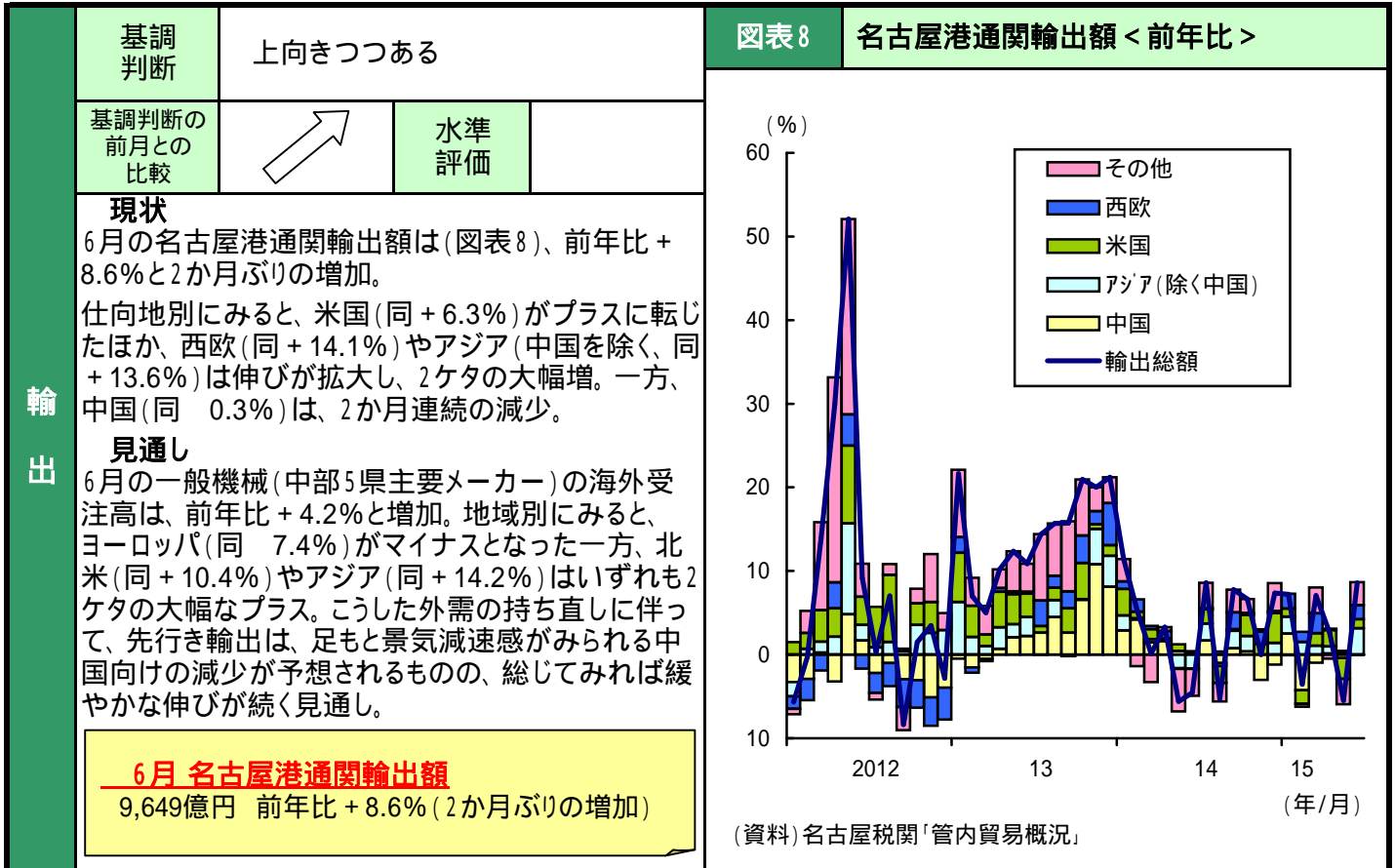
住宅投資	基調判断	持ち直しの兆し		
	基調判断の前月との比較	↗	水準評価	
	<p><b>現状</b> 6月の住宅着工戸数は、前年比+22.3%と2か月ぶりに増加し、プラス幅は2013年11月(同+24.4%)以来の大きさに。利用関係別にみると、分譲住宅(同 19.0%)が2ケタの減少となったものの、持家(同+2.8%)は2か月連続のプラス。加えて、貸家(同+93.8%)は、一時的な上振れの可能性もあるものの、大幅な増加となり、持ち直しつつあると判断。</p> <p><b>見通し</b> 住宅エコポイント制度の再開や、相続税対策としての貸家需要が、当面下支えにはたらく見通し。もっとも、消費増税前の駆け込みによる需要の前倒しが重石となり、高い伸びは見込み薄。</p>			
<p><b>6月 住宅着工戸数</b>                  5,307戸 前年比+22.3%(2か月ぶりの増加)                  ・持家: 1,651戸                    前年比+2.8%(2か月連続の増加)                  ・貸家: 2,479戸                    前年比+93.8%(2か月ぶりの増加)                  ・分譲住宅: 1,174戸                    前年比 19.0%(2か月ぶりの減少)</p>				



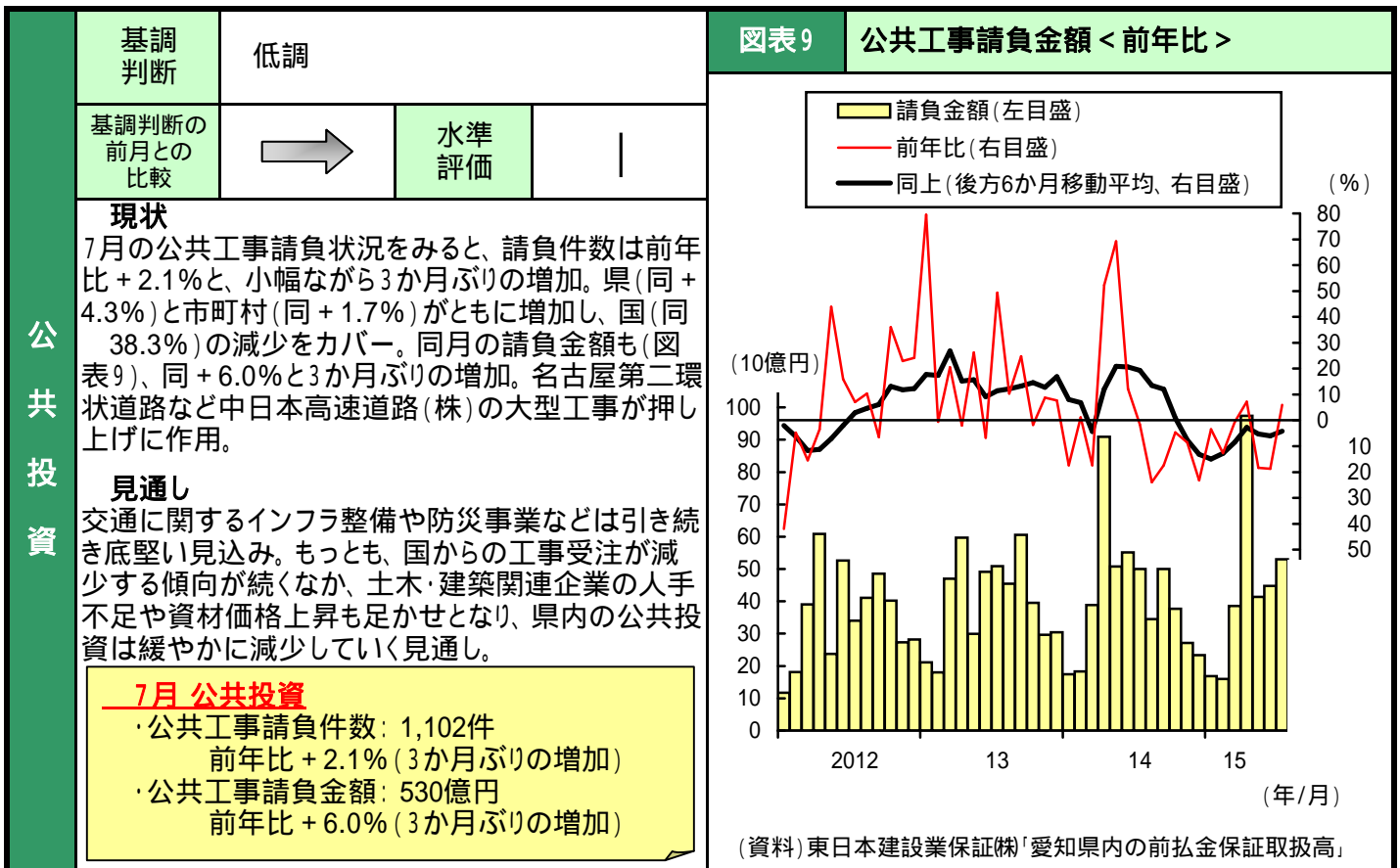
3. 個別項目の動向: 企業部門



4. 個別項目の動向: 海外部門



5. 個別項目の動向: 公共部門



以上

# 景 気 指 標

三重銀総研  
2015/8/17

## < 愛知県 >

(注) ( )内は前年(同期(月))比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2013年	2014年	2014年		2015年		2015年				
			7~9	10~12	1~3	4~6	3月	4月	5月	6月	7月
鉱工業生産指数	( 1.3) -	( 0.2) -	( 1.7) < 2.0>	( 3.0) < 0.1>	( 3.9) < 1.3>		( 2.1) < 1.2>	( 1.2) < 2.7>	( 7.0) < 6.1>		
大口電力消費量(百万KWh)	25,184 ( 1.0)	25,565 ( 1.5)	6,646 ( 0.5)	6,265 ( 0.5)	6,090 ( 4.2)	6,225 ( 1.1)	2,117 ( 4.5)	1,997 ( 0.2)	2,026 ( 1.7)	2,202 ( 1.8)	
新設住宅着工戸数(戸)	64,478 ( 14.6)	55,888 ( 13.3)	13,882 ( 20.1)	13,873 ( 20.1)	13,573 ( 4.8)	14,805 ( 6.7)	4,944 ( 7.2)	4,745 ( 0.5)	4,753 ( 1.3)	5,307 ( 22.3)	
非居住用建築物着工床面積(千㎡)	3,700 ( 19.1)	3,796 ( 2.6)	891 ( 7.7)	1,141 ( 38.3)	758 ( 8.8)	756 ( 19.0)	268 ( 10.2)	180 ( 47.0)	293 ( 1.4)	283 ( 4.8)	
公共工事請負金額(億円)	4,815 ( 13.1)	4,941 ( 2.6)	1,346 ( 14.2)	882 ( 11.5)	714 ( 4.2)	1,836 ( 6.7)	386 ( 0.6)	974 ( 7.2)	414 ( 18.4)	448 ( 18.8)	530 ( 6.0)
大型小売店販売額(店舗調整済)	( 1.2)	( 2.0)	( 1.1)	( 0.4)	( 5.3)	( 4.4)	( 14.6)	( 8.1)	( 6.2)	( 0.8)	
百貨店	( 4.1)	( 4.9)	( 3.3)	( 1.4)	( 9.2)	( 7.7)	( 22.3)	( 18.9)	( 7.6)	( 1.3)	
スーパー	( 0.2)	( 0.5)	( 0.1)	( 0.2)	( 3.0)	( 2.8)	( 9.2)	( 3.6)	( 5.5)	( 0.6)	
新車登録・販売台数(台)	256,568 ( 4.3)	256,917 ( 0.1)	63,279 ( 4.3)	56,232 ( 10.7)	71,341 ( 17.2)	54,023 ( 5.4)	30,232 ( 13.3)	14,662 ( 4.6)	16,153 ( 1.4)	23,208 ( 8.8)	21,227 ( 6.5)
有効求人倍率(季調済)	1.31	1.53	1.52	1.52	1.55	1.50	1.53	1.49	1.49	1.50	
新規求人倍率(季調済)	2.04	2.32	2.28	2.31	2.31	2.31	2.31	2.27	2.35	2.31	
名目賃金指数(調査産業計)	( 1.2)	( 0.9)	( 3.0)	( 0.2)	( 1.1)		( 0.9)	( 2.5)			
実質賃金指数(同)	( 1.0)	( 2.3)	( 0.6)	( 3.0)	( 1.9)		( 2.1)	( 1.2)			
所定外労働時間(同)	( 0.7)	( 4.6)	( 4.8)	( 2.7)	( 7.3)		( 6.5)	( 9.0)			
常用雇用指数(同)	( 0.2)	( 0.8)	( 0.9)	( 0.9)	( 0.4)		( 0.4)	( 0.6)			
企業倒産件数(件)	730	586	123	136	123	155	51	52	43	60	46
(前年同期(月)差)	( 59)	( 144)	( 59)	( 30)	( 37)	( 12)	( 2)	( 5)	( 14)	( 7)	( 8)
名古屋港 輸出(億円)	110,584 ( 14.3)	113,748 ( 2.9)	28,846 ( 3.8)	30,403 ( 4.8)	28,042 ( 3.5)	27,952 ( 2.0)	10,133 ( 7.1)	10,266 ( 2.6)	8,037 ( 5.5)	9,649 ( 8.6)	
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	( 0.1)	( 2.5)	( 2.9)	( 2.7)	( 2.2)	( 0.4)	( 2.4)	( 0.6)	( 0.4)	( 0.3)	

## < 東海3県(三重・愛知・岐阜) >

	2013年	2014年	2014年		2015年		2015年				
			7~9	10~12	1~3	4~6	3月	4月	5月	6月	7月
鉱工業生産指数	( 0.6) -	( 4.4) -	( 3.2) < 1.5>	( 2.6) < 0.3>	( 1.0) < 0.5>	( 0.1) < 1.4>	( 0.7) < 0.0>	( 2.3) < 1.8>	( 6.1) < 4.9>	( 3.9) < 4.3>	
新設住宅着工戸数(戸)	87,806 ( 14.8)	76,030 ( 13.4)	18,767 ( 18.2)	19,506 ( 18.7)	18,241 ( 4.0)	20,127 ( 7.3)	6,664 ( 9.1)	6,383 ( 0.3)	6,496 ( 4.8)	7,248 ( 17.1)	
大型小売店販売額(全店)	( 1.0)	( 2.5)	( 1.8)	( 1.7)	( 3.3)	( 6.0)	( 11.6)	( 9.0)	( 8.4)	( 1.1)	
同 (既存店)	( 0.7)	( 1.4)	( 0.6)	( 0.0)	( 5.1)	( 3.7)	( 13.5)	( 6.8)	( 5.8)	( 1.1)	
有効求人倍率(季調済)	1.21	1.43	1.42	1.43	1.48	1.46	1.47	1.45	1.46	1.47	
新規求人倍率(季調済)	1.87	2.12	2.08	2.14	2.16	2.20	2.15	2.17	2.23	2.20	
企業倒産件数(件)	1,015	859	186	197	183	217	78	68	69	80	63
(前年同期(月)差)	( 71)	( 156)	( 62)	( 49)	( 57)	( 19)	( 4)	( 17)	( 13)	( 11)	( 4)
域内外国貿易 純輸出(億円)	60,891	58,773	14,700	18,153	16,734	17,701	7,159	6,590	4,654	6,457	
輸出(億円)	151,826 ( 15.0)	157,855 ( 4.0)	39,932 ( 4.1)	42,653 ( 5.9)	40,361 ( 7.8)	39,870 ( 5.4)	14,740 ( 12.7)	14,336 ( 4.8)	11,448 ( 1.7)	14,085 ( 12.6)	
輸入(億円)	90,936 ( 11.0)	99,082 ( 9.0)	25,232 ( 7.8)	24,500 ( 3.5)	23,627 ( 8.3)	22,168 ( 6.0)	7,580 ( 12.4)	7,747 ( 1.0)	6,793 ( 16.8)	7,628 ( 0.4)	